



時の針

発行
 児高同窓会
 会長 梅沢 仁
 事務局 児玉町八幡山
 410 県立児玉高校内

ごあいさつ

同窓会長 梅沢 仁

児玉高校同窓会報「時の針」第三号発行に際し、一言ごあいさつ申し上げます。

親愛なる会員の皆様には平素本会の運営に格別のご理解とご協力を下され、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

お蔭様で会活動も活性化への成果を挙げ、会員同志を結ぶ親睦の輪も拡がりつつあります。

母校を支援し、地域の発展に役に立つ同窓会として、確実に走っている様は嬉しいことであります。本会の事業の企画、立案及び実施にあたる五委員会（記念、育英、親睦、広報、組織）の活動も関係役員のご努力により非常に円滑に進められ、その実をあげております。そして更に同窓生と母校を結ぶ絆の一つとして、又会員と在校生、父母、地元等の一体化が計れるものとして同窓会のテレホンカードを、テレホンカードプロジェクト委員諸氏のご働きによって発行することにしました。多くの皆様にご利用いただけるようお願いいたします。

さて、この度本会発展の為に多大なご尽力を賜りました杉田仁次

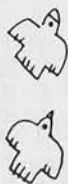
校長先生が三月末日を以ってご勇退に相成り、後任に岩田明（埼玉県教育局文化財保護課長）先生が新校長としてご赴任なされました。新旧両校長先生には、今後ともご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

いよいよ三年後から予想される高校生急減期に備え、母校もその対策に一生懸命取り組んでおります。同窓会に於ても、その為の応援には労を惜しむことなく精一杯頑張らなければなりません。

母校児玉高校は昭和六十七年には創立七十周年を迎えようとしています。

創立七十周年を前にして、一万五千の同窓生には更に心を合わせて、母校発展のために格段のご尽力を寄せられます様お願い申し上げます。次第であります。

終りに同窓生各位のご健勝と同窓会のごますますのご隆盛をご祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



児玉高校ルネサンス

学校長 岩田 明

児玉に着任して間もない、去る四月十九日のことである。東京・帝劇で開かれた同窓会の総会に出席して、私は度肝を抜かれたのであった。

バス三台で大挙上京し、東京近在のOBと合流しての総会もさることながら、そこで審議された同窓会の事業と活動のユニークさにある。

県下百六十余校と県公立高校多しといえども、これほど母校を愛し、異色の活動をしている同窓会は、他に例をみないのである。私は身の引き締まる思いで、総会に臨んでいた。

ややあって、私があいさつに立つ番となった。緊張のあまり、今となつては、はっきりと覚えていないのだが、たしか、次の三つのお話をしたように思う。

まず第一は、児玉高校教育のルネサンスを図りたい、ということ。第二に、町技でもあるサッカーをはじめ、各種スポーツを盛んにしたいこと。

そして第三に、五年後に迎える児玉高校創立七十周年を祝いたいこと。

あれから半年、同窓会は極めて精力的に活動をしておられる。例を六月中の主な活動に拾ってみても、同窓会テレホンカード発行準備会、野坂昭如氏を迎えての第三十一回文化講演会、P・後・同窓会々長会議、児玉郡市内中学校長との連絡会、そして本校OB職員との懇談会など。

いづれも、他校同窓会にはみられない、ユニークな活動ばかりである。これらの活動が母校の発展に、どれほど大きな力となっていることか。誠にありがたいことである。

ところで、総会で申し上げた、「児玉高校ルネサンス」というところが、いま学校内外で話題になっているという。言い出しっ屁の責任上、このことについて、少し述べさせてもらうことにする。

ブルックハルトの「ルネサンス論」をまつまでもなく、これは一つの革新運動です。

私の提唱する、「児玉高校ルネサンス」とは、児玉高校の歴史と伝統に学びつつ、現状からの脱却を図り、将来ビジョンを求めて、児玉高校の再生をめざす、息のな

が革新運動なのである。幸い、本校には、このルネサンス運動の素材となる歴史と伝統がある。本県公立高校百六十余校のなかで、本校は大正十一年、本県十五番目の学校として開校し、すでに一万五千余の先輩同窓生が、各界各層で活躍しておられる。

昭和四十八年のサッカー全国優勝、キャリアウーマン、そして優れた先輩教師の輩出など、「児玉高校ルネサンス」の素材は豊かに存在している。

これら多くの貴重な歴史的素材を生かし、現代に再生するため、多くの人々の参加と情熱によって、「児玉高校ルネサンス」という、壮大なドラマを展開しようではありませんか。先輩同窓生の皆さんのご支援を期待すること、切なるものがある。

昭和61年度事業報告

4月20日 総会、於東京帝国劇場地下浜田屋(139名バス2台)観劇「屋根の上のバイオリン引き」115名

5月30日 同窓会講演会、於母校講師 矢部幸久氏

10月1日 同窓会報(第2号)の発行及び援助金の募集

11月16日 親睦旅行、於浜名湖畔

1月17日 館山寺温泉(57名)

1月24日 新年会、於本庄崎玉グランドホテル(136名)

3月7日 入会式、於母校 会長

及9日 ほか役員出席



本部役員と理事

会長 梅沢 仁

副会長 日向千江子、星野ひろ子

大沢 貞夫、川辺 昇

武田 広研、貫井 公博

井上 英夫

石井 敏郎

阪本 光江、徳世みどり

新井いと子、吉川 幸男

林 喜一

新井 初枝、高木 清憲

関根 フサ、飯島美智子

野口多喜子、小林 俊雄

松村 康江、栗本美智枝

田村 禎一郎、西沢 勇

吉川 音絵、根岸 俊一

中村 愛子、藤森 寛

黒沢 洋子、根岸 武

塚本 隆明

テレホンカード 発行される

同窓会では同窓生と母校を結ぶ絆の一つとして、また、児玉高校への理解と認識を深めていただくため、オリジナルテレホンカードを作製いたしました。

●施設の整備された現校舎
●懐かしい郷愁に満ちた旧校舎

●昭和48年8月サッカー部の
インターハイ全国大会優勝

以上の三種類(一組、三千円)です。多数の皆様のご協力をお願い申し上げます。

「お申込みは事務局まで、なお郵送を希望される方は振替用紙にて三千円を御送金下さい。」

クラス会

便り

◎高女第12回卒業生、62年2月8日、9日 於千葉小湊・ホテル三日月、35名出席

◎高女第9回卒業生、62年5月8日、9日 於水上谷川温泉金盛館、27名出席

◎高女第10回卒業生、62年7月26日、27日 於長壽長生館、30名出席
次回は本庄市埼玉グランドホテルにて63年10月の予定



昭和62年度 教職員人事異動

(敬称略)

〔転出・退職〕

校長 杉田仁次 退職
教諭 河田耕一 退職

岡部輝夫 熊谷商業高校

岸 秀夫 浦和高校

佐藤克明 寄居高校

松本浩一 川越南高校

平山智司 酒巻久夫 退職

長野哲也 退職

非常勤講師 久間木峰子 退職

養護教諭 武井剛与 本庄高校

主事 黒田則行 川越教育事務所

(転入・新任)

校長 岩田 明

教諭 古末行一 青山正和

山下正彦 洲崎 勇

高橋 剛

非常勤講師 中島清治

養護教諭 永井恵子

主事 島崎伸次(定)

親睦旅行に 参加して

秋たけなわの十一月十六日十七日、児玉高等学校同窓会恒例の親睦旅行に参加させていただきました。

校長先生始め、先輩の方々総勢五十七名のバス旅行で、宿泊地は浜名湖、館山寺です。

車内では同窓会々長さんの挨拶から始まり、バスガイドさんの説明や友達どうしのおしゃべりで車内はもり上がり、大先輩と一緒に旅で初め緊張しておりましたが、すっかり楽しい雰囲気にしたってしまいました。

静岡県に入り、富士山展望の絶佳地として名高い日本平に寄りました。展望台からの眺めは、正に一巾の画のようです。ロープウェイに乗って久能山東照宮を参拝しました。重要文化財である総漆塗りの社殿を始め境内の建物は、歴史をしのばせ見ごたえがあり、来た甲斐がありました。

宿泊地館山温泉では、湖を眺め乍ら情緒あふれる檜の風呂にひたり、旅の疲れもすっかりいやされました。

帰路は、東海道丸子の宿の丁字屋のとろろ料理で、伝統の味を満喫しました。

句

◎旧交を温む湖や石路の花
(高女12回 飯島美智子)

詩

◎学舎のなつかしき
友と四季の歌うたう
嬉し涙で夜もすがら
霧にむせぶ夜明けの湖
(高女12回 山口みね子)



この度の旅行に参加して、先輩の方々あたたいご指導と、後輩達の元気な姿を目のあたりに見て、大変有意義な旅行が出来ましたことを、心から喜んでおります。
高校五回 柴崎(旧茂木) 督子

恩師おたより

第二号の発行に際し、恩師(旧職員)の先生方に御寄稿をお願い申し上げました。「題の設定・文字数の制限」なども多数の先生方に御寄稿いただきましたことを感謝申し上げます。(紙面の都合により次号と分けさせていただきます)

なつかしく

西村辰子先生
(旧姓松井)

私は奈良女高師文科を昭和十二年三月に卒業し五月晴れの佳日に児玉高女に赴任し二年間勤めました。田園の中にたつみどりの校舎、純朴な生徒の皆さん、秋ともなれば天高く澄み切った空にそびえる上州の三山、遠く浅間山はかすかに白煙たなびき……。あれから五十年の日々それらは私の脳裡に深くはっきりと刻みこまれて居りました。

よみがえり感無量であります。あの頃私二十二才、校長長三十七才、山岸教頭三十九才、私一年生の担任で十四才の生徒さんでした。

私と児玉高校(高女)

狩野ツミ先生

昭和十六年九月から十八年十二月迄、今は故人となられた日新校長先生の下で、英語と音楽兼任として二年余りお世話になりました。学校を出て初めて赴任校だけに想い出は数々残っております。あの頃の児玉は童謡「里の秋」や「ふるさと」がびったりのほのぼのとした静かない所でした。戦後四十年余も経過すれば時の流と共に進歩発展は当然のこと、学校も町の姿もまるで当時とは天地の差がある程見事な飛躍ぶりに驚きました。十年程前高女十三回卒業の方々の同期会にお誘い下さった時、校舎の中も拝見しました。例えば児玉は私の青春のほんの一ページでしたが、たくさんのお友達にも恵まれて、今や六十路の坂を越えようとして居ります。

私と児玉高校

平岩小夜子先生

「心経を吐より誦す寒夕やけ」
おかげ様で元気に六十五才の大

寒を過しています。思えば四十数年も昔「埼玉県へ出向を命ず」の辞令一枚で異国へでも流れるような思いで児玉高女へ数学の教師として着任しました。当時の校長先生は日新義虎先生、朝夕全員で般若心経を音誦し週一回の座禅というお導きで戦時中の心のやすらぎを与えて下さいました。又当時としてはモダンであり且つ重厚な女学校の校舎からは山裾の家の一つ一つがはっきりと見え澄み渡ったきれいな空と空気の赤城山が望郷の心をなぐさめてくれました。当時の皆様は如何御すごしでしょうか、心から御多幸をいのり今後の児玉高校の一層の御発展を命ある限り見守らせていただきます。

私と児玉高校

細野博先生

ご無沙汰ばかりで誠に申し訳ございません。児玉高女に在職しておりましたのは昭和十九年からでした。終戦時に授業中の木造校舎の窓辺にあった鈴懸の木に、カッコーがしきりに鳴いていたのを皆さんと一緒に聞いた日のことが校庭にあざやかに思い出されます。家庭内の住宅で活した当時、二才だった長男も今は二児の親となり現在シドニーに在勤、その節はいろいろとお世話になりました、お礼申し上げます。

す。お陰様で私も健康で、油絵を描いたり、日本周辺の国々を旅したりしております。ご援助ご指導をいただいたその頃の職員の方々のご厚情に感謝いたしますとともに、同窓皆様方のご多幸をいつも祈り上げております。



裁縫 (昭和11年)

私と児玉高校

境野覚治先生

私が児玉高等女学校に奉職したのが昭和十五年四月でした。大学を出て最初に教職についたので何かとまどいましたが生徒はおとなしく話をきいてくれました。校舎は古風な建物が印象的でした。

戦争は次第に激しくなり勤労奉仕に生徒と日比谷公園に行ったこともありません。テニス部のクラブを担当し当時の部員の顔もよく記憶に残っています。当時の校長は日新先生で塙保巳一先生を崇敬され職員生徒は毎朝登校すると作法室に正座して誓若心経を一心に唱えたことは今でも私の心の奥深く残っています。

昭和十八年一月に応召、戦後シベリヤに抑留され昭和二十二年五月復員した後三十年間上里町の中学校に勤め五十二年三月退職し現在余生を自由に楽しんでおります。

私の近況

佐久間千恵子先生
(旧姓若林)

「先生こんどいつくるのー」と学童達が窓から顔をだして大声をあげている。「この次の水曜日よー」と負けずに大声で返事をすると私は水曜日に児童館へボランティアとして遊具を作ったり、いろいろの体験談を学童達に話してやっています。今年の三月三十一日に退職し四月から始めた。月々土まで勤めていた時と違って毎週水曜日に会えることはとても待遠しい。戦争を知らない子ども達という歌があるが、今は戦争を知らない親達でやがてもう十年もたったら戦争を知らない祖父母達となるでしょう。戦争を体験した私達が学童達

に戦争の悲惨さをかたり続けていなくてはならないと思う。八月十五日のおやつにすいとんを作った学童達が「おいしい」と云ったのは複雑だ。



同窓会報を 頂いて感謝

岡 悌二先生

拝復 児高同窓会報をお送り下さいましてありがとうございます。会則、本部役員及び理事、時の針、六十一年度事業計画など、一字も、のがさず、全部読みました。

第一に感じましたことは、児高同窓会は、県南諸高校の同窓会と全く異質のものだということ。地方の諸活動が、児高同窓会を背

景にして動いているらしい、という事です。県南の諸高校は全く異なります。在学中だけの母校です。これを説明することは紙面の都合で、省略します。

右の理由で、児高同窓会の存在意義は、まことに深いものがあると存じます。

私は、ことし八十三。ボケていないつもりです。御安心下さい。

敬具

会報に寄せて

古曳保正先生

このたびは会報をご恵送いただき大変楽しく拝見いたしました。会員各位もご壮健にてご活躍の様子嬉しく存じます。私も児玉高校を辞して既に三十六年、八十歳を迎えました。幸い健康には恵まれ、毎年中国旅行を楽しんでおります。

私が児玉高校に赴任したのは昭和二十四年二月、世はまだ終戦時の困乱から抜け切らない時でしたが、学校は男女共学を始めた時で、サッカー部や野球部ができ、活気に満ちみちていました。

私も放課後になると生徒と一緒に運動場を走りまわったものですが、あの頃の生徒諸子も早や五十の坂を越した頃、一層の自重自愛とご健闘を祈る次第です。

いつも研究、良い薬・資生堂チェーンストアー

有限会社

吉川薬局

代表取締役 吉川幸男
薬剤師

(高校3回、昭26年卒)

〒367-02 児玉町大字児玉81番地

TEL 0495-72-0129

建築・設計・施工

株式会社滝澤建設

滝澤建設一級建築士事務所

代表取締役 滝澤英子(昭、29年卒)

滝澤智由(昭、56年卒)

滝澤千朗(昭、59年卒)

本社工場 児玉町大字八幡山389番地

TEL (0495) 72-0018(代)

思い出と近況

矢代 正先生

この海辺の町へ来て二十余年です。三原山の噴火も海岸で眺めました。私が児玉へ勤めたのは終戦の翌夏で二十歳を過ぎた頃です。生徒は全員モンペ姿で素朴なものでした。マッカーサー指令で日本史が授業できず英語・国語をやりました。それから大学へ入学し東京都立校へ勤め約三十年、いまは東海大学附属相模高校です。

私共は美里町の生まれで児玉との縁は切れません。高校三回生を中心にして秋東京で会合があります。私の趣味の童謡の作詩にちなみ彼等のため「児玉慕情」を作ってみました。御覧下さい。緑なつかし武蔵野の、果てを流れる身馳川。児玉が原に春風吹けば、十二天から鐘が鳴る。同窓会の発展をお祈りします。さよなら。

私と児玉高校

小林泰雄先生

生徒の中で誕生し「生徒浴」を堪能しながら、十分に若さを摂取して過ぎた教職の道37年の歩みにビリオドを打って、いま最初の新年を迎えました。……これは今年の年賀状の書き出しです。私

製新語「生徒浴」は、昭和24年春新任教師として児玉高校に赴任し天衣無縫のふるまいで、生徒諸君と楽しく動き廻った3年間を回想したとき、ごく自然に湧き出た言葉です。この「生徒浴」が37年間の充実した教職活動のポテンシャルであったのだと、いまつくづく感じています。県立浦和高校校長最後に現役を退きましたが、請われるままに全国高等学校長協会の事務局長の仕事を引き受け昨年六月より霞ヶ関の国立教育会館まで遠距離通勤をしております。

私と児玉高校

(共学開始の頃)

斉藤梯次先生

戦後学制改革の真最中私は児玉高に着任した。父兄会の席上反対の声もあつたが言わば共学は当時の至上命令で準備はすすんだ。どんな生徒が？多少の不安はあつたが本庄高から多数の男子生徒を、そして新制中からの志望者も多く共学は開始された。当時の児玉は僻陬で人情細やか、生徒は素朴、のんびりしている。私は前任校長の模試に数名を派遣して一緒に受験させてもらった。人数こそ少いが上位をしめた生徒もあり後任の青年教師にも進学、クラブ指導に熱心な教師も多く共学二年目サッカー部は関東大会にも出場した。

かつて乙女の園であった児玉高の雰囲気も一変、潑刺の気が漲った。校庭の一隅、旧弓道場の茅屋にいても児玉の九年間は楽しかった。



同窓会総会・校庭(昭和9年)

私と児玉高校

高山 晃先生

昭和24年、新任教員として着任、10年間、校長先生を初め諸先生方の温かい指導の下、熱心な生徒諸君に囲まれ教員生活を送ることができ幸であった。生徒諸君には、新参教員で迷惑をかけたと思つている。しかし、良き時代で、教育に夢中になり、特に理科教育に微力ながら尽くすことができたと思

えている。今日、卒業生は各方面で指導的立場で活躍している。先日も学位をとった卒業生が来宅し喜びを語っていた。

私にとっては、初任で一番長い勤務校で印象深く、家庭の基盤作りは児玉で、初めての仲人役も卒業生へであった。今は本庄高校長だが、児玉高は母校のような気持ちで見ている。終わりに同窓会と学校の発展を祈念申し上げます。

児玉高校の思い出

萩原辰之助先生

私が児玉高校にお世話になったのは、昭和三四年から三七年の四年間であった。良い校長、優秀な教職員、生徒にめぐまれ、楽しい期間であった。私は秩父から通勤していたので、児玉高校の広々とした風景がとても素晴らしかった。当時学校の周りは豊かな農村地帯で、春はレンゲソウの紫とナタネの黄の縞模様がかつた。四階の屋上に立つと、北方は男体・赤城・榛名の連山、西方には妙義・浅間の名峰が望まれ実に雄大な眺めであった。然し冬の烈風の時は、体が吹き飛ばされそうであった。

私も年は古稀を越え、昨年は教育功労者として勲四等瑞宝章を頂いたが、教頭として振り出した児玉高校が特に懐しく思い出される。

児玉高校と私

茂木光男 先生

私は昭和五年から三十九年まで勤めさせていただきました。

其の間ありがたいことに高等官と位を戴きました。その辞令書と病床の父に見せたら涙を流して喜んで呉れました。

又児玉で結婚式を挙げもう金婚式後五年もすぎ一男四女も夫々独立し孫も十二人になりました。

話は戦争時代に戻りますが私も文部省から太田の中島飛行機製作所に出向せよと内報があり今か今かと待機して居りましたが同所の空襲で出向は取止めになったのです。

今は本庄のエーザイ近くの家で家内と庭いじりをしたり畑で野菜作りをしています。

山中湖にて(七月上旬早晩)梅雨明けり
赤富士まぢか旅の宿 茂木光男

児玉高校に望む

金井敏彦 先生

拜復 同窓会報「時の針」をお送り戴き、懐かしく拝見いたしました。

私は、昭和三十六年四月から三十九年三月までのわずか三年の期

間でしたが、当時の本橋信治校長先生、竹本礼三校長先生、はじめ多くの先生方から「教育は人なり」を教えて戴きました。その後、深谷第一高校を経て、現在、鴻巣女子高校に勤務しております。

児玉は四季折り折りの自然に恵まれ、かつ、良き指導者のもとで、若い教員が資質向上を図るのにおさわしい学校です。今後も私同様、若い教員が児玉高校に赴任された際には、先生方はじめ、活動盛んな同窓会、PTAの皆様方、若い教員を温かく迎えて戴き、ご指導をお願いします。

終りに、児玉高校が益々ご発展されるようお祈り申し上げます。

所感

中主 厚先生

月日のたつのは早いもので、御校を去りて、早や二十年過ぎ、第十八回東京オリンピックの年に御校に着任して五年間、無我無中で勤めさせていただきました。当時は旧高等女子校時代の木造二階建の校舎と西側に四階建の鉄筋コンクリート校舎がありました。今は整備され立派な近代校舎になりましたとのこと、まことに悦ばしく存じます。さて、飽食時代とか情報化時代となった今日、社会状況の変化に伴って、教育の内容が多岐に亘っています。退職して十数

年経過しましたが、やはり教育に関心をもっています。傍観的に、どうか御校がますます発展し、数多くの優秀な生徒諸君が社会に進出し大いに活躍されることを祈って止みません。

私の近況

堀越貞友 先生

私が、児玉高校に勤めたのは昭和四十三年の頃で、十八年も前のことになりました。児玉から本庄高校を経て、母校でもある不動岡高校に転じ、病気のため休職・退職となり、今日に至りました。晩年に種々の重い病と闘い、九死に一生を得て、健康に勝る幸福はないと言ふことを、しみじみ感じます。

五十三年夏、喉頭がんのため、慶応病院で喉頭摘出手術をうけ、声を失って身障者となり、悲嘆にくれました。必死の努力で食道発声法を習得して社会復帰を果し、只今は、同病者の埼玉銀鈴会で発声指導をするのを生きがいとしてやっております。



私も七十五才となりました。老妻、長男夫婦と二人の孫娘の六人家族で幸せの日々を送っています。

冷暖房 給排水 衛生 浄化槽工事一式

堀込水道設備

児玉郡上里町神保原 331-8
TEL 0495-33-0959

(阿部道子・旧姓堀込・53年3月卒業)

企画 設計 施工

田村建築事務所 田村木村

田村禎一郎(高校6回卒業)

埼玉県児玉郡児玉町大字八幡山165
電話 0495-72-0103

私と児玉高校

宮前 昇先生

私が児玉高校に在職したのは42年から四年間でした。牧歌的な自然環境の中で、純朴な生徒たちに囲まれて過したあの頃のことや頭に浮びます。私は秩父線、八高線と乗りついで通いました。着任の年の冬、その日夕刻から降りはじめた雪のため夜になって八高線がストップしてしまつた。児玉は雪に弱い所、バスは全線不通、クラブ活動で遅くなり帰宅できなくなつた数人の生徒と共に校長公舎に泊めてもらいました。焼き餅を食べべながら掘越校長先生、生徒たちと歓談したあの雪の夜のことが忘れられない。

一万mのクロスカントリの思い出も懐かしい。女子組ですが私は毎年走つた。最初の年が16位、翌年24位、と段々下つていったけれど、運動部顧問の若い先生を追い抜いた時は痛快でした。

あの頃は、大学紛争が燃え上つた時で厳しい教育環境にありましたが、教頭として未熟な私でしたが、梅沢会長さん始め同窓会の皆さんに励ましていただいたことは、私が大きな支えとなりました。ありがとうございました。

☆☆☆



校舎全景（昭和12年）

私と児玉高校

粟生田芳造先生

私が児玉高校に勤務したのは昭和三十八年四月から四十五年三月までの七年間で、私が三十八才から四十五才までのまさに働き盛りの真ん中だった。それだけに思ひ出も深いものがあります。日本の高度成長が板に付いて、経済界を初め、すべてが順風満帆な何々景気に浮いている時だったが、その恩恵の田舎への滲透は極めて徐々にしかなく頃だった。然し動評は一応定着し、重層構造論が云われる程、管理体制は進行していた。私は今思つてもほとんど迷いはな

く現場で一介の教師として、生徒と同じ方向をむいて進もうと思つていた。わずか七年の勤務だったが当時の生徒諸氏と今もって親交があるのは有難い極みと云える。

私の近況

新井行雄先生

同窓会報ありがとうございました。会報「時の針」のもと、今後益々発展されるものと期待しております。

私にとって児玉高校は初めての赴任校であり、その八年間は教師として育てていただいた貴重な時でもあります。その意味で母校としての愛着もひとしおなものです。

児玉を離れた後、松山女子高校川本高校、深谷第一高校と勤務校を変え、六十一年度からは隣の児玉農工高校へ転任してきました。のどと喜んでいます。少々年々ともにと頭髪も薄くなったのが残念ですが心は若く元気です。山岳部の顧問としてまだ時々山へ登っています。今後ともよろしくお願い致します。

私と児玉高校

江原 啓先生

児玉高校には昭和四十八年四月から三年間お世話になりました。丁度サッカーの全盛時代で、夏の全国大会で、連続優勝、準優勝の好成績を収めました。

また、管理特別教室棟や格技場兼合宿棟の建設も完成し、教育環境の整備充実もできました。

これ等については、脊山P会長さん始め、PTA、後援会、同窓会や地域の方々の絶大なご尽力とご支援を頂きまして、誠に有難く

私と児玉高校

南部敏明先生

教師になって初めて勤務した学

今以て深く感謝に堪えません。卒業生の方々も、各方面で活躍されておられ、ご同慶の至りです。母校への愛着はいつまでも持ち続けられるでしょうが、どうぞ御健勝で、今後とも一層のご支援をお願いし、併せて児玉高校のご発展を心から祈念いたします。

私と児玉高校

町田勝持先生

私は現在まで四校目の高校を経験しております。そのなかで最も懐しく想うのが児玉高校です。今でも時々夢に見る程です。それは良いことは心に残り、忘れないことは年月と共に昇華してしまうというところもあるでしょう。しかし最初勤務した高校（昭和二十九年四月より）であったし、二十二年間お世話になり、よい諸先輩の先生方や生徒達に恵まれて数々の思い出があるからだと思います。授業や部活動等の指導では苦しみや多くの喜びなどがありました。若く未熟でしたが、結果はともかく、思い切りエネルギーが注がれたことは大変仕合わせでした。また、児玉高校の職員や同窓会・保護者の方々、さらに地域の方々の心の温かさは忘れ得ません。



私の近況

碧鳥大木善平先生

春たちかえる毎に、お互に新しい生活に入るのだとは感ずるもの、少々時がすぎるといつとはなしに、この張りきった気分がうすれてしまい駄勢で日々を過してしまふようになってしまふ。時々反省のような気分にはなるもの、それも長つづきなく消えてしまふ。今年には児玉高校が再生して第一号の誌上に、皆さん頑張つて本意を述べられること故これを永続させるようにつとめ、そして児玉高校の面目と自己とを改造進めるようつとめましよう。私も齢のみ重ね、何のなすところもなく遂に八十七歳になつてしまひ自らの生甲斐をこの際つよく深く反省して生きようと心にきめなし得る努力をいたします。皆さん天命の限り心身を正しく持続いたしましう。

〇〇〇〇〇

大木善平先生は昭和六十二年八月十四日御逝去されました。八十七才の天寿を全うなされたとは申しまして残念でなりません。先生は昭和十七年五月より五十二年三月まで児玉高校に在職され私達を指導して下さいました。私達より御冥福をお祈り申し上げます。

私の近況

宮原善三郎先生

四十二年間の教員生活を去つて早くも三年、野良仕事、ドライブ、小旅行等を夫婦でしていましたが、心臓疾患で入院したり、娘を嫁にやったりし、現在は気ままに無理しない生活をしていきます。

昭和十七年に、十九歳半ばで国民学校訓導になつた私は、己れの短気・小心・才能の乏しさを反省し、「児童は教師の鏡なり」をモットーに励みました。四十歳頃に「無財の七施」の教えを知り、自分なりに解釈して心がけました。(1)輝く澄んだ眼(2)微笑(3)美しい言葉(4)真心(5)こざっぱりした服装(6)他の人に譲る(7)自分のいる場所を清潔にする。この七つの事がなかなか身につきません。今後は少しでも進歩するように努力しながら、地域の為に尽くすつもりです。



全国にお花をお届けします
フジテレビフラワーショップ加盟店

小林生花店

小林 俊雄 (高4回)
児玉店 児玉町新町144-3
☎ 0495(72)1505代
FAX 0495(72)4135
本庄店 本庄市前原1丁目
☎ 0495(22)3912

内科・胃腸科・呼吸器科

大関内科医院

大関 秀雄 (昭和38年卒)
埼玉県上里町七本木2401-32
TEL 0495(33)2131



仮装行列 (昭和29年)

私の近況

小林捷利先生

兄玉高校を離れて既に六年弱となります。その間、熊谷養護学校、熊谷市立女子高、そして現在秩父高校にお世話になっております。兄玉高校での約二十年と、そして再度の約六年の勤務とに較べますと、テンポの早い、大変慌ただしい思いが致します。

嘶していたのを思い出します。秩父夜祭りの帰り、椿の紅佗助を一本買いました。いま一重の花がうすい紅をぬって、二・三輪咲いています。

私と兄玉高校

篠沢節夫先生

時の針第2号を読ませていただきました。学校の様子、会員の様子ひとつひとつ身近に感じました。会報は心の橋渡しとなってより會員に親しまれるものになりました。編集担当の方々ほんとうに御苦勞様です。先日或る方と世間話をしていたところ、私は元、兄玉高校教員、彼女は二十年前の卒業生、そのことがわかった途端、学校の話、同窓の話になり彼女が話す昔話も私には納得の数々で、話に花が咲きました。彼女の恩師の何人かを私が話してやったら大変感激しました。母校愛、同窓の親しみなどしみじみ彼女から伺うことができました。

私と兄玉高校

石黒希代先生

昭和三十年から十四年、五十七

年から三年間の兄玉高校は埼玉で最初の最後の学校でした。昭和三十年代は北辺素村の兄玉の地にも高度成長の波が押し寄せ、地域の生徒達が高崎線沿線の高校に拡散し始めた時代です。これは本校教育の根幹にかかわると若気の勢で同窓会長梅沢さんに働きかけ、「地域の子は地域の学校で」と同窓生の皆さんの協力を強くお願いしましたが、当時進路やスポーツに伝統校としての成果をあげる一助になったと思います。最後の三年間は今は昔語りです。最後の三年間は「会報を発行するくらいに活力ある同窓会へ」と差出がましいことを申し上げ、会則の改正を経て新たな発展の象徴として「時の針」をみ、心からお祝い致します。

私と兄玉高校

関口増夫先生

厳冬の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。さて、本庄北高校に転動して早十ヶ月が経とうとしています。兄玉高校在任中は、学ぶことが多く今では私の貴重な財産です。芭蕉の句に、「よく見れば、なすな花咲く垣根かな」というのがあります。この中にある「よく見れば」ということを大切にしなければなりません。生徒一人一人は非常に素晴らしいのです。やや

もすれば見落としがちな、「なすな花」、常に心に留め置きたい句です。転動に際して、何で行くのですかとか、卒業生や在校生が北高まで会いに来てくれたりして、非常に感激しました。最後に、兄玉高校の一層の発展をお祈りしています。

私の近況

柴崎文夫先生

十二年前に仲人をした、スポーツ万能な偉丈夫が、最近心筋梗塞で倒れ危うく命を落とすところだった。そんなこともあり人間ドックを受診した、その結果は、中性脂肪が高く、胃に軽度の変形があるとのことである。

若いころから血気にはやって、大酒を飲み、体力にまかせ夜ふかしなどの不摂生をしたり、精力を乱費し、それを愚かにも自慢し快としてきた報いかもしれない。たばこはようやく止めることができたが、高齢者ほどたばこ離れが進んでいると聞き、ものすごく努力したことが薄れてしまった。五十路を越えて得た経験、それは極めて平凡なことだが、先ず健康であり、これからは自分の命は自分で守る精進をしてゆきたい。



国際大会に 出場して

六十年三月卒 岡泉 淳

私は昨年の十二月二十六日に、スペイン・カディス市で行なわれた第十二回スペイン国際ジュニア柔道大会に出場した。この大会に日本選手は六名参加して、その内五選手が優勝を果たした。私の試合結果は、決勝で惜しくもベルギーの選手に返し技で負けて第二位の成績だったが、他の日本選手はすべて優勝しているのでもって悔しい思いをした。参加国はスペイン・ポルトガル・ベルギー・エジプト・日本の五カ国だけだった。そのため試合数は少なく、私の階級の九十五キログラム超級は参加選手の四名だけのトーナメント制の試合であった。私は二試合だけしか出場しなかったのに、試合後とても疲れを感じた。日本代表としての勝利への重圧が重く、初めての国際大会に戸惑ったため精神的に疲れたと思う。

その後、私たちは十二月二十八日にマドリット市で、スペインチームとともに親善試合や稽古を行った。その時私は外国選手で相手を崩して技を掛ける人は少なく、強力に頼って相手を崩さず技を掛ける人が多いと思った。また、こ



の国際大会を通じて一番心に残ったことは、優勝と第二位の大きな差を改めて感じ、そのことに対して周囲の人たちの見方もまったく違っていたことである。さらに、日本選手の中で他の選手が優勝して私だけが第二位だったことの屈辱は今でも忘れられない。

けれども、私が国際大会に出場できるようになったのは自分の力だけでなく、まわりの人たちの力に助けられてここまで来れたのだろう。特に高校時代の三年間は、柔道部の顧問の高柳和夫先生の指導のもとで柔道の基礎を造り上げたと思う。高柳先生は毎日熱心に指導され、技術面よりも精神面の勝負への執着を私たちに教えられた。また、高柳先生は埼玉大学の

出身であるため、埼玉大学の助教の野瀬清喜先生に頼んで柔道の指導や私の大学受験まで教えてもらった。それ以外にも多くの人たちに指導・援助を受けた私は、これからも増々精進して大きな目標に向かって頑張りたいと思う。

催しもの お知らせ

◎講演会

（母校の在校生諸君にむけて行ないますが、ご都合のつきます会員各位の参加をお待ちします）

とき 昭和62年11月5日（木）午後1時より3時まで

ところ 母校・体育館

講師 木村広子氏（旧姓倉林）
高校第4回卒業生 現在女子栄養大学助教

※ 申込 62年10月30日

◎親睦旅行

とき 昭和62年11月15日（日）16日（月）

集合・出発場所 本庄駅南口7時30分

<p>ジューキ・ブラザー・デュルコップ・工業用ミシン 裁断機・縫製設備・家庭用販売修理 婦人子供服縫製</p> <h2>北爪憲治商店</h2> <p>北爪良枝（女10回昭和15年卒）</p> <p>本庄市銀座1-9-2 電話（0495）22-3560</p>	<h2>常木屋米穀店</h2> <p>常木育子（昭、15年卒）</p> <p>本庄市千代田3-2-1 TEL（0495）22-2672</p>
---	---

3. 東京駅丸の内南口はとバスのりば9時30分

伊豆・熱川温泉
熱川温泉ホテル ①0557(23) 3131

25,000円(宿泊・昼食・バス・見学料等)

のりもの 観光バス
見学場所 最乗寺・本田技研(株) 狭山工場

※ 申込メ切 62年10月20日

◎ 新年会

とき 昭和63年2月6日(土) 午後3時より

ところ 本庄市・埼玉グランドホテル ①0495(21) 2111

かいひ 4,000円

※ 申込メ切 63年1月25日

◎ 総会 (昭和63年度)

とき 昭和63年4月17日(日)

集合・出発場所

1. 児玉高校8時20分
2. 本庄駅南口8時40分
3. 帝国劇場前11時10分

ところ 東京千代田区・帝国劇場地下1階(帝劇、浜田屋) ①03(216) 2458

かいひ 5,000円(バス・昼食・懇親会費)

コース

1. 帝国劇場公演観劇、「おはん」 宇野千代原作 山本陽子主演

2. 入場料S席9,300円 都内バス遊覧 六義園、大倉集古館、日本民芸館等を見学予定

※ 申込メ切 63年3月16日
なお、観劇のメ切は予約のため、62年10月20日の午後1時〜4時まで

一、(催しもの申込先)
石井(事務局)児玉高校内 ①0495(72) 1591

二、星野親睦委員長 ①0495(24) 4847

どちらかにメ切日を確認の上お申込下さい。

「部活紹介」

サッカー部

顧問 根岸篤太郎

四月の最初の部会の日に、サッカー部が集まる教室では生徒が溢れていました。新入部員三十八人という空前の希望者を迎えたからです。以来四ヶ月、大集団となったサッカー部の活動が続いています。埼玉県の高校サッカー部の数はいまや一七八チーム。インターハイに代表二チームを送れる県で

す。この中で上位をめざして闘って来ましたが、昨年今年ともいま一步およびませんでした。本年度の学徒大会では、県北二十七チーム中の五代表として中央大会に臨み、新人戦ベスト8の一角、宮代高に快勝しましたが、ついにベスト16にとどまりました。かつて、関東大会に優勝し、インターハイ四年連続出場、優勝一回、準優勝二回、三位一回、全国高校サッカー選手権大会三位という成績を残した時期に比べると児玉高校のサッカーは色あせたかに見えます。しかしいま、約五十人の集団としての彼らは、先輩の栄光の重さを受けとめながら、ひそかに期するところを抱いて練習に励んでいます。部員の出身中学は児玉郡市、一部大里郡にひろがり、各地域のサッカーが一体になって児玉高校のサッカーを形成しつつあります。拡大した地域基盤に立って厚い選手層を育成し、強固なチームづくりを目ざしています。「走り、闘うサッカーを身につけるために多くのチームから学びたい」と、春から各地のサッカーフェスティバル等でできるだけ試合を消化しました。

三月〇本庄市高校サッカーフェスティバル
四月〇千葉県ファミリィ高校サッカーフェスティバル
七月〇群馬近県高校サッカーフェスティバル

〇近県高校サッカー強化研修会(児玉・八月二日まで)
八月〇上田市高校サッカーフェスティバル

この間に学徒、県北、一次予選を闘い、何をしなければならぬかを知ってきました。冬の新人戦までに強靱な体と挫けぬ意志力を養い、必ず目標に近づこうと考えております。先輩諸兄の偉業を継いでいくために、練習の壁に立ち向かっていきます。御指導をお願い申し上げます。



編集後記

各位の御協力を頂き、第三号をお送りします。これからも、よりよい会報をめざして頑張ります。恩師(旧職員)の先生方による「おたより特集号」となっています。次号へも続きますので御期待下さい。

同窓会の「テレホンカード」が出来ました。皆様の格段の御協力をお願いいたします。

母校は昭和六十七年に創立七十周年をむかえようとしています。記念事業等の「アイディア」を、事務局まで是非御一報下さい。